

はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”
オープニングコンサート

はつかいち ニューイヤー・ ガラ・コンサート 2021

2021年新春は、モーツァルトのピアノ協奏曲や
オペラ名曲集とともに！
さくらびあにゆかりのあるアーティストたち
による華やかで楽しいひとときを
お過ごしください。

ピアノ
中田 博人

指揮
山上 純司

「はつかいち。モーツァルト、モーツァルト！」
新春の廿日市、きらめくモーツァルトの楽音、ソプラノたちの声…!

【曲目(予定)】

W.A.モーツァルト：オペラ『フィガロの結婚』K.492序曲
同：ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488
同：オペラ『フィガロの結婚』K.492、
『ドン・ジョヴァンニ』K.527、
『コジ・ファン・トゥッテ』K.588より
アリア及び三重唱曲集 ほか

※曲目・曲順が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

2021年1月17日(日) 14:00開演
(13:00開場)

はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ大ホール

全席指定(税込)

一般 3,000円

18歳以下 1,500円

※ポイント5%付与

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、座席を削減して発売開始します。

状況により追加販売する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

チケット発売日

〈会員〉11月14日(土) 〈一般〉11月21日(土)

プレイガイド

エディオン広島本店、フジグランナタリー、
チケットぴあ(Pコード:188-187)、ウッドワンさくらびあ事務室、
ウッドワンさくらびあオンラインチケット

※安心・安全にコンサートをお楽しみいただくため、ウッドワンさくらびあでは
感染症対策に取り組んでいます。

※チケットの半券にお名前・緊急連絡先の記入をお願いいたします。

※また、裏面記載の〈ご来場のみなさまへのお願い〉をお読みのうえ、
ご来場くださいますようお願いいたします。



ソプラノ
工谷 明子



ソプラノ
枝松 瞳



ソプラノ
乗松 恵美



ソプラノ
柴久美子



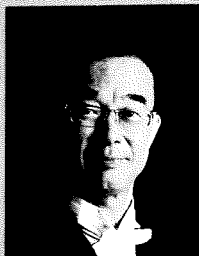
ソプラノ
山口 水螢



ソプラノ
平福 知夏



Profile <出演者プロフィール>



山上 純司(指揮)

1960年水戸市生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻前期修士課程修了。指揮を汐澤安彦、遠藤雅古、渡邊暁雄、ウィクター・フェルドリブ各氏のもとで学ぶ。大学院2年次より作陽音楽大学に勤務。オーケストラ、吹奏楽及び指揮法を担当。1994年3月まで専任講師、助教授を務めた。1990年より2年間北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルト音楽大学に留学。カール・ハインツ・ブレンメ、ペーター・ヤコビー教授らのクラスで、主にオペラの指揮を学ぶ。また、モーシェ・アツモン、ガリー・ベルティニ、ミハエル・ギーレン、マイクロ・シュ・エルディエール各氏からも指導を受ける。留学中より、ルーマニア国立オペラディアルハルモニー交響楽団、チェコの西ベミア交響楽団、ポーランドのフィルハーモニー・スデツカ等の定期演奏会に出演。またドイツではオフペンバックのオペレッタ『CROQUEFFER』の公演を指揮した。日本では、これまでに群馬交響楽団をはじめ、千葉交響楽団、東京シティフィル、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪フィル、オーケストラアンサンブル金沢、岡山フィル、瀬戸フィル、広島交響楽団、札幌交響楽団等を指揮している。またオペラ分野では、『フィガロの結婚』『コシ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『椿姫』『リゴレット』『アイダ』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『トゥランドット』『カルメン』『こうもり』『御柱』等を、バレエ分野では『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『ドン・キホーテ』等を指揮している。2003年1月、ハイドンの『無人島』で新国立劇場に初登場した。



中田 博人(ピアノ)

岡山県出身。岡山県立倉敷育陵高等学校卒業。くらしき作陽大学大学院音楽研究科修了。オーストリア、グラーツ国立音楽大学 Postgraduate課程(Post Master)を最優秀の成績で修了。2015年、第17回さくらびあ新人コンクール第3位。2018年、ヴァルチドーネ国際コンクール Cat.Dにおいて第1位。2019年、タディーニ国際コンクール第2位など、国内外のコンクールで入賞。日本演奏連盟、日本音楽教育学会、日本音楽表現学会、広島西音楽家協会、各正会員。



乗松 恵美(ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院独唱科修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。マダム・パタフライ国際コンクール in 長崎優勝。ひろしまフェニックス賞、広島文化賞新人賞受賞。様々なオペラで主役を務めるほか、合唱曲のソリストとしても高い評価を得ている。現在、故郷の広島を拠点に、各地で演奏活動を行う。日本演奏連盟、日本音楽学会、「ヒロシマと音楽」委員会会員。エリザベト音楽大学講師。ミリオンコンサート協会所属。藤原歌劇団団員。



枝松 瞳(ソプラノ)

山形県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学別科修了。日本歌曲振興会第18回日本歌曲コンクール声楽部門第1位及び四家文子賞受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部29期修了。オペラでは文化庁新人育成オペラアンサンブル公演『イル・カンビエッロ』(ガスパリーナ)で本格デビュー後多数オペラに出演。また宗教曲のソリストとしても活躍。2012年より広島に拠点を移し、県内外において幅広く活動。広島市在住。



平福 知夏(ソプラノ)

広島市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽修士課程修了。卒業時に同声会新人賞受賞。第79回日本音楽コンクール声楽部門入選や第22回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門奨励賞など多くのコンクールで入賞。第124回日本演奏連盟推薦新人演奏会、及び広島プロミシングコンサート2005出演。広島国際文化財団中村音楽奨学生。現在は広島を中心にオペラやコンサートの舞台上で活動する傍ら、後進の指導も行う。あきクラシックコンサート実行委員会副会長。広島文化学園大学非常勤講師。



工谷 明子(ソプラノ)

廿日市市出身。愛知県立芸術大学音楽学部音楽学科声楽科卒業。定期演奏会及び卒業演奏会に出演。第10回全日本高等学校声楽コンクール広島県大会第1位。第12回さくらびあ新人コンクール第2位。平成25年さくらびあ小ホールでソロリサイタル開催。『こうもり』(アデーレ)、『メフィストフェレ』(マルゲリータ)等のオペラに出演。演奏活動の他、合唱指導などにも携わる。13代はつかいち観光親善大使。あきクラシックコンサート実行委員。



山口 水蛭(ソプラノ)

エリザベト音楽大学声楽専攻卒業。同大学院修士課程を首席にて修了。第5回東京国際声楽コンクール大学生部門第1位、東京新聞賞受賞。第19回さくらびあ新人コンクール第1位、さくらびあ大賞受賞。平成25年度後期はつかいちさくらびあ賞受賞。新進演奏家育成プロジェクト第22回オーケストラ・シリーズにて広島交響楽団と共演。現在、歌唱指導や舞台、コンサートなど多方面でジャンルに捕らわれない演奏活動を行っている。(株)クライスマジックエンターテインメント所属アーティスト。



柴 久美子(ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。ウイーン、シュツットガルトにて研鑽を積む。広島、東京、ソウル、済州島などでのリサイタルをはじめ、広島との共演、NHK-FM放送出演など幅広いコンサート活動を行う一方、『魔笛』、『カルメン』、『こうもり』他数多くのオペラで主役を演じている。またCD『日本抒情歌曲集 母に抱かれし頃』をリリース。さくらびあ市民オペラ会長。さくらびあ市民オペラ合唱団、女声合唱団詩葉の会指揮者。FMはつかいち番組審議委員。

[音楽監督] 松本 憲治

[企画・制作] はつかいち室内合奏団運営委員会

お問合せ・チケットの電話購入

はつかいち文化ホール ウッドワン くらびあ

〒738-8509 広島県廿日市市下平良一丁目11-1

☎0829-20-0111

【チケット取扱時間】9:00～19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は翌平日

アクセス

●広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩約7分

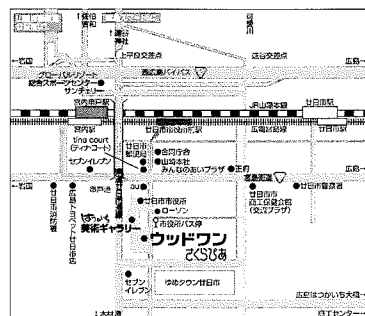
●JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分

※駐車場には限りがございます。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

ご来場のみなさまへお願い

- 体調不良(発熱・倦怠感など)及び感染症陽性者との濃厚接触がある方は、来場をお控えください。
- マスクの着用、こまめな手指の消毒、咳エチケットをお願いします。
- お客様同士の大声での会話や、出演者への掛け声などはお控えください。
- 楽屋での面会、出演者への贈り物は、ご遠慮ください。

その他、新型コロナウイルス感染症防止対策へのご協力を願っています。



はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA” (さくら)



はつかいち文化ホールを拠点に演奏活動を行うプロ・アンサンブルとして、2020年4月に正式発足。5月に開催予定だった創設記念演奏会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、今回の演奏会が室内合奏団にとって初の単独冠主催公演となる。今後はウッドワンさくらびあでの公演だけではなく、「はつかいち ほほえみ(小学校訪問)コンサート」や「さくらびあ出張ふれあいコンサート」への団員派遣など、地域に根差した活動を行い、「より市民に親しまれる合奏団」を目指して活動を展開していく予定。※愛称の“SA-KU-RA”(さくら)は公募によるもので、廿日市市の木でもある桜の樹が市民の心を和ませるように、音楽で人々の心に楽しさを咲かせる『咲(さ)く楽(ら)』をイメージして付けられました。